

夏休み中の仲よし会の暑さ対策は

プールでの水遊び等施設ごとに工夫して対応



櫻田 百合子
(市民連合クラブ)

議員 学童保育である仲よし会は、放課後活動の貧困化も叫ばれる現代において、保護者の側だけでなく、その環境で成長している子供たちにとってもとても重要である。市は直営2カ所、指定管理12カ所で事業を行っているが、利用率と待

機児童の現状は。

健康福祉部長 4月現在の利用児童数は771人で利用率は84.7%です。待機児童は、平成30年度当初は3施設で21名、同年度末は1施設で3名となっています。

議員 利用者からの苦情・要望への対応は、健康福祉部長 市が指定管理者や支援員から詳しく内容を聞き取り、事実が確認された場合は、児童や保護者へ適切な対応の指導、助言を行っています。

議員 利用者からの健康福祉部長 市が指定管理者や支援員から詳しく内容を聞き取り、事実が確認された場合は、児童や保護者へ適切な対応の指導、助言を行っています。

議員 今年の夏休み中の利用人数と対応は、健康福祉部長 利用児童数は675人でした。扇風機や日よけの設置、プールでの水遊び、冷たいおやつや飲み物等施設ごとに工夫して暑さ対策をしています。

議員 地球温暖化に備え、早急に暑さ対策

に取り組んでほしい。

議員 子供の虫歯予防の一つとして、フッ化物を取り入れた予防事業が県内の他自治体で行われ、効果を上げている。当市でも実施する考えは。

市長 子供のころからの虫歯予防は、豊かな人生を送るための基礎であり大変重要であると認識しています。今回提案された幼児へのフッ化物物歯面塗布事業は、来年度の実施に向けて進めていきたいと考えています。

議員 過疎地域に指定されている旧十和田湖町地域の中高生の通学支援のため、バス通学費を補助する考えは、教育長 市内全体の生徒への公平性を十分に考慮する必要がありますため考えていません。

議員 通学に便利なバス便の整備を事業者に求める考えは。

企画財政部長 通学対応バス路線のダイヤは、事業者が各学校の登校時間に合わせて設定しており、要望があればその都度伺い、調整を図っているようです。

議員 国立公園満喫プロジェクトの今後の取り組みは。



山田 洋子
(市民連合クラブ)

過疎地域の中高生にバス通学のための支援を

公平性を考慮し通学費の補助は考えていない

農林商工部長 来年度は、環境省が行う休屋地区の廃屋撤去等の再整備に合わせ、一宮地区の市道を石畳化し、景観を改善します。

議員 温泉引湯管の老朽化が懸念されているが、安心できる温泉事業に向けた市の取り組みは。

市長 今年度は源泉の設備調査や概略設計を行い、施設全体の更新手法や概算費用の算出等を行います。来年度以降、早期に更新計画を策定し、着手したいと考えています。

議員 十和田湖温泉郷が来年4月に「奥入瀬渓流温泉」に改称するが、案内看板等はいづ改修するのか。

農林商工部長 来年度の観光シーズンに向けて、適切な時期を検討します。

議員 民間が立てた看板も市が統合して整備する考えは。

農林商工部長 まちなみ再整備基本計画を策定する中で、どう取り組めるのか検討します。



虫歯予防に歯磨きとフッ化物塗布を



来年4月改称の十和田湖温泉郷